

(公社)富山県高等学校安全振興会

会報

第 6 号 (平成29年12月19日)

〈発行者〉

公益社団法人 富山県高等学校安全振興会

〒930-0018 富山市千歳町 1-5-1

富山県教育記念館

TEL 076-432-2810

FAX 076-432-1501



「体験教育講演会」
(富山高等学校)



「PTA講演会」
(新湊高等学校)

公益社団法人 富山県高等学校安全振興会

ご挨拶



理事長 石坂 兼人

日ごろより、富山県高等学校安全振興会が実施する本県高等学校及び特別支援学校の児童・生徒等の安全に関する事業にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

時適切に使用できるよう保守・点検、7年毎の機器の更新を行っています。本年度はバッテリーの更新を行いました。

本会は、児童・生徒等が健康で安全な学校生活を送ることを願い、学校管理下における事故、疾病に係る医療費等の共済事業を行うことにより、本人並びに家族の精神的・経済的負担の軽減を図り、学校における教育活動の円滑な展開に寄与することを目的として平成4年に設立され現在に至っております。

また、共済事業においては、生徒の災害に係る給付金の支払い件数が近年増加傾向にあり、28年度は新規件数が376件となっています。特に部活動中のけがや事故が多く支払い件数の約80パーセントに上っています。

このように学校管理下で実際に起きた事故への共済事業は大切な事業ですが、当然のことながら事故を未然に防ぐためにも各校、各単Pでの研修や活動に協力していくことも大事な活動と捉えています。

これからも会員の皆様のお役に立てる会として期待に添えるよう、私たち役員並びに職員一同、一所懸命努めて参ります。

主な安全普及事業として、各校での急な事故・病気に対応できるようにAEDを寄託していますが、現在、65校すべてに1台ずつある機器について常

今後ともご理解とご協力をよろしく願いいたします。

平成29年度定時社員総会を開催

平成29年度定時社員総会は、平成29年6月1日に富山電気ビルディング5階大ホールにおいて、富山県高等学校PTA連合会定期総会終了後開催されました。石坂理事長の挨拶に続き、来賓を代表して富山県教育委員会生涯学習・文化財室の菊池政則室長より祝辞を賜りました。

総会では、平成28年度事業報告、平成29年度事業計画・収支予算書について報告がありました。その後、平成28年度決算（貸借対照表・正味財産増減計算書）について協議し、原案どおり承認されました。

また、本総会終了を以て理事・監事の任期が満了するため、平成29年度・30年度理事・監事を選任しました。石坂理事の他3名の理事が再任され、5名の理事と2名の監事が新たに選任されました。任期は2年間で、平成31年に開催される定時社員総会終了を以て任期満了となります。

総会後の理事会において、代表理事（理事長）に石坂兼人理事が、常務理事に広井 睦理事が選任されました。

第7回全国高等学校安全互助会連絡協議会総会及び研究大会（埼玉大会）

平成29年10月5日・6日に埼玉県川越市の川越東武ホテル（川越市）において、第7回全国高等学校等安全互助会連絡協議会総会及び研究大会が開催されました。

本大会は、高校生等への共済事業を行っている団体相互の連携を深めるとともに、それぞれの活動の質的向上を目指して研究協議を行う大会であり、北海道から沖縄県まで15団体、70名余が参加しました。

開会行事、総会に引き続き、研究協議が行われました。研究協議では、はじめに「PTA等共済事業の現状と法人運営」と題して文部科学省生涯学習政策局社会教育課PTA等共済室係長 吉谷 正 氏の講義があり、共済事業の現況、法人運営、改正個人情報保護法等についてお話しいただきました。

次に、各団体が日頃抱えている諸課題等に関する質問事項12項目について各団体が作成した資料をもとに研究協議が行われました。各項目とも活発に意見交換が行われ、充実した研究大会となりました。

次年度は平成30年10月4日・5日に静岡県で開催されます。

平成28年度共済金請求事例について

平成28年度負傷共済金請求のあった613件のうち、初回請求事例376件について、平成27年度と比較します。

平成28年度は、請求総件数で前年度より50件増えています。初回請求件数は、前年度（379件）とほとんど変わっていません。

活動別発生状況（図1）では、部活動中が最も多く302件（80.3%）で、平成27年度とほぼ同様の件数・割合となっています。部活動としては、バスケットボール部、サッカー部、野球部が、前回同様発生割合が高く、この3つの部で部活動全体の約52%を占めています。

次に多いのが授業中33件（8.8%）で、そのほとんどが体育の授業です。

部位別発生状況（図2）では、「膝」の負傷が74件（19.7%）あり、平成27年度より若干割合が減少していますが、前年度と同様に最も損傷の多い部位となっています。続いて「足・足指、足関節」が73件（19.4%）で前年より4.6%増加しています。そして、その次が「手・手指、手関節」47件（12.5%）で、この3つの部位での件数は、全体の約52%を占めています。具体的には、骨折、靭帯損傷が多くなっています。

全体を通じて、前年度とほぼ同様の傾向にあると言えます。

今後も、より安全・安心に諸活動が行われますよう、一層の配慮をお願いします。

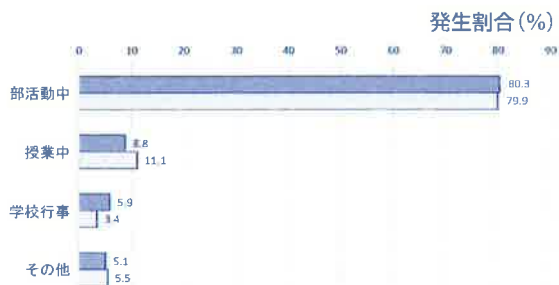


図1 活動別発生状況 ■ H28 □ H27

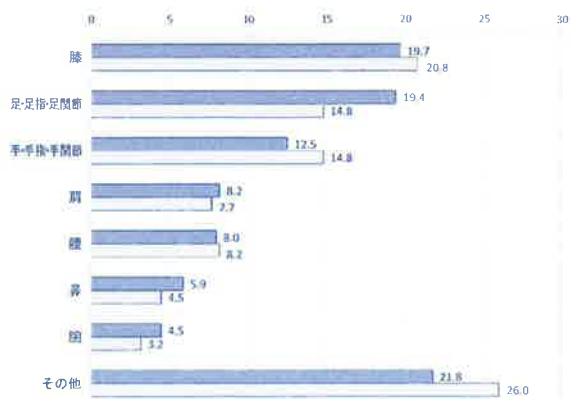


図2 部位別発生状況 ■ H28 □ H27

助成事業報告

砺波高等学校 保健講話「心の授業」

ーリラックス体験 自律訓練法ー

「安全、健康教育および健全育成等に関する実践活動」に関わる取り組みとして、毎年 3 年生に保健講話「心の授業」を実施しています。

大学受験に向けて勉学に励む 3 年生が、専門家から心の授業を受けることで、心の健康について考え自己実現のための考え方やストレス対処法について理解を深めていくことを目的としています。

1 取り組み内容

10月3日(水)、HRの時間を利用し体育館にて本校スクールカウンセラーの山本壽美先生から、自律神経の働きや自律訓練法などの講話を聴きました。

自律神経の働きを整えることで、心身のリラックスにつながり、それによって疲労回復、ストレスの緩和、仕事や勉強の能率向上、不安の軽減などの効果があることを学びました。



講話の後、3年生全員が実際に自律訓練法を体験しました。各自、持参したタオルを敷いた上に寝転んで、手足を伸ばし目を閉じました。照明を落として薄暗くなった体育館にゆったりした音楽が流れる中、山本先生の言葉に従いながら、少しずつ心身を解きほぐしていきました。生徒にとって自分の身体と向き合い、リラックスできる良い時間となりました。

2 生徒の感想

- 話を聴いているときは難しいと思ったけれど、実際に体験してみると緊張感がほぐれリラックスできているのがわかった。
- 交感神経と副交感神経のしくみがよくわかった。また、効果を学び、実際に体験できて良かった。

- 自分からリラックスしようとするのが大切だと気づいた。また、リラックスすることで、集中力も上げることができるのだと学んだ。
- 重さや温かみを感じるの難しかったが、先生の指示に従うと、身体の緊張がほぐれた。寝付きが悪くなかなか眠れないことが多いので、自分で自律神経をコントロールできるようになりたい。
- 目を閉じて頭の中で身体のいろんな場所に意識をおくことでゆったりとした気分になり、自然と眠りに入ってしまった。短時間でも効果があるとわかったので、今後活用していきたい。



3 実施を通して

上記の感想とともに、生徒からは「もっと知りたいこと」についても意見が寄せられました。

- 5分程度でできるストレス解消法
 - 眠気がとれない時の改善方法
 - すぐに落ち着ける方法、心の落ち着かせ方
 - 一番効果のある休み方
 - 穏やかに過ごすにはどうしたらよいか など
- これらの要望には速効性を求めるものが多く、そこから生徒たちの多忙な生活、疲労、ストレスや人間関係の悩みなども見えてきます。体験後だからこそ自然に心情が発露されたのかもしれませんが。

一度の体験で自律訓練法を身につけることは難しいかもしれませんが、生徒の心の安定と人間関係づくりの一助として、このような方法があるということ伝えることができたことに意義があると思います。生徒たちには、焦らず落ち着いて、各自の目標に向かって着実に歩んでほしいです。

平成28年度事業・収支決算報告

- 《事業》
- 1 社員総会 定時総会；平成28年6月7日
 - 2 会 議 理事会 4回開催
 - 3 調査研究事業 平成28年5月9日、6月7日（第2回・第3回）、平成29年1月26日
第6回全国高等学校等安全互助会連絡協議会総会及び研究大会岐阜大会（平成28年10月6日・7日）
PTA等共済法事務担当者会議（平成28年6月3日、平成29年2月10日）
 - 4 安全普及事業 全国高等学校等安全互助会連絡協議会研修会（平成28年11月25日）
(1)機器の整備 AFD（65台）の定期点検（平成28年8月・9月）
(2)広報事業 安全振興会会報・手引書の発行及び加入案内の配布、ホームページの随時更新
 - 5 助成事業 生徒の安全・健康及び健全育成等に関わる実践活動への助成（18団体）
 - 6 給付事業 共済金支払件数615件（負傷；613件、義歯；2件）
 - 7 香料給付事業 7件

【収支決算】 1 収入の部

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	29,501,057	294,743	4,000,214	33,796,014
基本財産運用収入	0	0	0	0
特定資産運用収入	45,115	0	35	45,150
受入共済掛金	29,455,490	0	0	29,455,490
受入香料掛金	0	294,740	0	294,740
雑収入	452	3	4,000,179	4,000,634
投資活動	13,145,979	0	0	13,145,979
基本財産取崩	0	0	0	0
特定資産取崩	0	0	0	0
支払備金取崩	13,145,979	0	0	13,145,979
前期繰越収支差額	4,267,212	76,742	15,247,625	19,591,579
計	46,914,248	371,485	19,247,839	66,533,572

2 支出の部

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	20,748,948	380,599	4,598,015	25,727,562
事業費	20,748,948	380,599	0	21,129,547
管理費	0	0	4,598,015	4,598,015
繰入金	0	0	0	0
投資活動	23,257,006	0	345,035	23,602,041
基本財産取得	0	0	0	0
特定資産取得	10,111,027	0	345,035	10,456,062
固定資産取得	0	0	0	0
支払備金積立	13,145,979	0	0	13,145,979
予備費	0	0	0	0
次期繰越収支差額	2,908,294	▲9,114	14,304,789	17,203,969
計	46,914,248	371,485	19,247,839	66,533,572

平成29年度事業・収支予算計画

- 《事業》
- 1 社員総会 定時総会；平成29年6月1日
 - 2 会 議 理事会 4回開催
 - 3 調査研究事業 平成29年5月8日、6月1日（第2回、第3回）、平成30年1月25日
第7回全国高等学校等安全互助会連絡協議会総会及び研究大会埼玉大会への参加
（平成29年10月5日・6日）
PTA等共済法事務担当者会議等への参加
 - 4 安全普及事業 (1)機器の整備 AFD（65台）の定期点検、バッテリー・パッドの交換（平成29年8月）
(2)広報事業 安全振興会会報・手引書の発行及び加入案内の配布、ホームページの随時更新
 - 5 助成事業 生徒の安全・健康及び健全育成等に関わる実践活動への助成
 - 6 給付事業 共済金給付

【収支予算】 1 収入の部

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	29,244,625	290,700	4,001,000	33,536,325
基本財産運用収入	0	0	0	0
特定資産運用収入	50,000	0	0	50,000
受入共済掛金	29,192,625	0	0	29,192,625
受入香料掛金	0	290,600	0	290,600
雑収入	2,000	100	4,001,000	4,003,100
繰入金	0	0	0	0
投資活動	16,000,000	0	0	16,000,000
基本財産取崩	0	0	0	0
特定資産取崩	0	0	0	0
支払備金取崩	16,000,000	0	0	16,000,000
前期繰越収支差額	7,704,043	17,725	9,482,201	17,203,969
計	52,948,668	308,425	13,483,201	66,740,294

2 支出の部

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	33,448,749	284,251	6,148,000	39,881,000
事業費	33,448,749	284,251	0	33,733,000
管理費	0	0	6,148,000	6,148,000
繰入金	0	0	0	0
投資活動	18,000,000	0	0	18,000,000
基本財産取得	0	0	0	0
特定資産取得	2,000,000	0	0	2,000,000
固定資産取得	0	0	0	0
支払備金積立	16,000,000	0	0	16,000,000
予備費	100,000	0	0	100,000
次期繰越収支差額	1,399,919	24,174	7,335,201	8,759,294
計	52,948,668	308,425	13,483,201	66,740,294

《役員》

平成29・30年度理事・監事

○理事（9名）

石坂 兼人（理事長） 広井 睦（常務理事）
木村 博明 寺部 静祐 岩田 秀昭 山崎 均
金田 栄悟 森 雄一 柴田 正信

○監事（2名）

柳田 毅 本田 利麻

平成28・29年度審査委員会委員（9名）

駒野 あゆみ 次郎丸 紀子 西尾 学 福島 英晴
本吉 達也 品川 俊男 深島 丘也 菊池 政則
藤 纒 太郎

編集後記

安全互助会の各種研修会への参加等を通じ、正確で迅速な共済金給付事業をはじめとして、各業務の責任の重さを痛感しております。
県内の県立学校、私立高校で学ぶ子どもたちの健康・安全、健全育成のため、今後とも精進してまいりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。
（常務理事・事務局長 広井 睦）